

秋田県手をつなぐ親たち

第54号

公益社団法人

・発行人 会長 谷内 和夫

秋田県手をつなぐ育成会

秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館3階

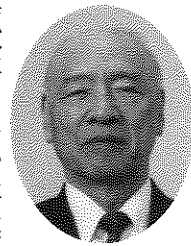
平成29年3月号

TEL 018-864-2718

HP <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

成果と課題

会長 谷内 和夫



これまでの常識を覆すような政変や事件が国の内外で

頻発する中、平成二十八年度の秋田県育成会の各事業は、会員の皆さんと関係諸機関のご協力を得て、以下のページに記すように概ね当初の計画どおり達成することができました。

当会の重点事業の一つである第五十八回秋田県大会（由利本荘・にかほ大会）では、大会テーマを「どこでも、誰でも、いつまでも安心して暮らせる社会を築こう」とし、延べ五百人以上の参加を頂き、成功裏に終了しました。

講演「安心と豊かな生活をまごころで」やシンポジウム「一人ひとりの個性にあった支援を充実させよう」では、心のこもった支援を行っている実情を発表頂き、一方、本人活動でも歌・ゲーム・創作活動等をうまく組み入れた活動を展開しました。

二十九年度の開催地・県南地

区（大仙・仙北・美郷）では既に実行委員会を立ち上げ、準備に入っております。

さて、この一、二年の間に、新しい福祉関係の法律「成年後見制度利用促進法」や「障害者総合支援法改正法」が成立し、さらに「障害者差別解消法」が施行されていることは既にご承知のことです。

いつまでも無くならない虐待や差別、医療的ケアの必要性、親亡き後の不安など、個々の問題が確実に解決されていくことを願うものです。具体的な問題の解決には、地域の実態に即し市町村育成会が主体的に取り組んで行かねばならないものと思われまます。

さらには、昨年七月に相模原市で起きた暴挙に対し、その言動に同調してか、模倣的犯罪も見受けられる現状を思えば、育成会の活動内容もよくよく吟味してみなければなりません。

障害があっても持てる力を發揮して、懸命に作業に取り組んでいる姿こそ、生きる価値は計り知れないものがあります。決して卑屈にならず、堂々と前向きに歩んで行きたいものです。

平成二十八年度の主な事業実績

一 福祉思想の啓発や情報提供

(一) 第五十八回手をつなぐ育成会秋田県大会（由利本荘・にかほ大会）

八月二十八日、由利本荘市文化交流館カダレーを会場に、全県から五百四十人の参加のもと開催しました。詳細については、会報53号やホームページを参照してください。

(二) 情報提供

年二回「会報」の発行と、当会ホームページに各種事業や研修会の案内、制度改革の速報などを随時、掲載しているのをご参照ください。

二 研修会、協議会の開催

(一) 組織強化

障害福祉団体連合会・社会福祉協議会等知的障害に関係する団体が知的障害者を取り巻く諸問題について協議や研修への相互参加するなど共通認識を深め、連携を強化しました。

(二) 障害者支援事業合同協議会

平成二十八年十二月六日・七日 秋田ビューホテル 七十三名参加

知的障害者福祉協会と育成会の関係者が各種情報や意見を交

換し合い問題の解決を目指していくことを目的としています。

第一日目は、「本県における障害者福祉の動向と方向性について」と題して秋田県健康福祉部障害福祉課の渡部裕樹副主幹と渡邊奈緒子主査の二名の方から、最新の県内情報を提供していただきました。また、次ぎに障害を持つわが子のために自分たちが亡くなった後、第三者に子どもの生活や財産管理をしてもらえる各種制度を学びたいという要望を踏まえ「成年後見制度の活用と利用促進に向けて」を公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部の幹事、司法書士 梅崎昌弘氏より、実例を交えてもらいながら説明をしてもらいました。

二日目は、「利用者の安心した暮らしを支えるために」をスローガンに、7月の津久井やまゆり園事件や9月に起きた大雨災害等、利用者の安心した生活を守るためにはどのような支援が必要なのか、福祉協会や育成会の部長や正副会長がそれぞれの立場から意見を提供してもらい、それらを基にフロアの参加者と活発な意見交換が行われました。

(三) 地区別研修会

- ① 県北地区研修会 参加者 四十七名
十一月二十八日 北秋田市交流センター
・障害者の防災・避難について
・津久井やまゆり園事件について
・その他
- ② 中央地区研修会 参加者 九十名
十月二十二日 秋田市老人福祉センター
・知能や発達に遅れのある人たちと共に過ごすために
・地域における障がい者へのサポート体制づくりの必要性そのあり方
・ひとりひとりの子どもとして
- ③ 県南地区研修会 参加者 三十名
平成二十九年二月二十五日
湯沢雄勝広域交流センター
・津久井やまゆり園事件に関する中間報告について
・県手をつなぐ育成会平成29年度事業計画(案)について

三 特別支援学校保護者研修会・相談会

- ① 比内支援学校かづの校
十月二十八日 参加者 二十九名
七月の障がい者が多数殺傷さ

- りを楽しんだ後、岩見山内コミュニティセンターできたんぼ鍋で交流を図った。
- 十月三十日 五十九名参加
- ⑤ 由利本荘市手をつなぐ育成会
市内のはまなすファミリーポウルでゲームを通してマナーや技術を学び、おやつを食べながら互いに交流を図った。
- 十一月十二日 六十二名参加
- ⑥ 仙北市角館町手をつなぐ育成会、愛仙にし保護者会
角館交流センターにおいて、大曲支援学校せんぼく校の生徒達とミニ運動会やなべっこを食べながら交流を図った。
- 九月二十一日 八十九名参加
- ⑦ 大仙市手をつなぐ育成会
仙北ファミリーポウル セレクタ5でボウリングを楽しみ、その後カラオケルームでみんなで歌を披露し合い交流を図った。
- 十一月十二日 三十五名参加
- (二) スポーツ交流会
- ① 男鹿市手をつなぐ育成会、玉の池荘保護者会
男鹿市総合体育館でカローリング、オーパルボール、クオリティ、スカッドボール等珍しいスポーツを市内高校生の皆さんと体験し、近隣の施設利用者とも交流を深めた。



れるという未曾有の相模原事件からの教訓や思いを共有するため、「資料」だいたいようぶ、手をつなごう」を読んだの話し合いを行いました。また、県育成会の活動や役割も紹介し、地元の子育て会とのつながりと共に活動していることへの理解を深めました。

- ② 秋田大学附属支援学校
十月三十一日 参加者 二十名
・障害者総合支援法3年後の見直しについて
・年金受給、障害者支援区分等についてを子ども達の卒業を控えた保護者を対象に具体的な対応を説明しました。
- ③ 栗田支援学校
十一月二日 参加者 二十八名
・障害者総合支援法3年後の見直しについて
・育成会活動について
・年金受給、障害者支援区分等についてを秋田大学附属支援学校と同様な内容で行われました。

四 本人活動支援事業

- (一) 秋田県ともだちの会
八月二十八日 参加者 八十三人

- 十一月十五日 百七名参加
- ② やまぼと園親の会、稲川町手をつなぐ親の会
親子ランドゴルフ大会を湯沢市稲川交流スポーツエリアで開催しその後、稲庭うどん作りや漆器伝統工芸館見学を通して交流を図った。
- 十月十六日 四十名参加
- (四) 巡回相談事業
比内支援学校かづの校
十月二十八日 参加者 四十人

五 全国大会・東北ブロック大会関係事業への助成・協力

- (一) 第三回全国手をつなぐ育成会連合会神奈川大会
七月二日・三日
神奈川県横浜市で開催された。
- 秋田県からの参加者七名
- (二) 第五十六回手をつなぐ育成会東北ブロック大会
九月二十四日・二十五日
宮城県仙台市で開催された。
- 秋田県からの参加者二十八名
(内、本人三名)
- (三) 東北ブロック協議会
二十九年一月二十五日・二十六日
福島県郡山市においてブロック大会等について協議を行った。

由利本荘市文化交流館カターレ秋田県大会の本人大会として開催、一部の人は音楽療法士の日沼郁子さんの指導により、歌やゲームを楽しみました。他の人たちはバスに分乗し、にかほ市にあるフェライト科学館を見学、そこで親子で万華鏡を作成しました。

- (二) 本人活動支援事業
- ① 鹿角手をつなぐ親の会
かづの活動センター「出発の家」のブルーベリー栽培の体験・神社境内の清掃活動、町内清掃等。
四月〜十一月 三十一回実施
延べ本人 百七十三名参加
- ② 大館市手をつなぐ育成会
大館市北地区コミュニティセンターにおいて、楽器づくり、ミュージックケア、きりたんぼ昼食会で交流を図った。
- 十一月二十七日 四十三名参加
- ③ 三種町手をつなぐ育成会
三種町八童農村環境改善センターで、ユニカール、ピンゴゲーム、きりたんぼ昼食等で交流を図った。
- 二十九日一月二十七日 七十七名参加
- ④ 秋田市手をつなぐ育成会
種沢観光りんご園でりんご狩

機関誌「手をつなぐ」の年会費の改定について

※ 全国手をつなぐ育成会連合会からのお知らせ
購読されている皆様には度々お願いで申し訳なく思いますが、平成二十九年より、カラーページ印刷・写真を増やしビジュアル的要素を高め、紙面を充実します。また賛助会費の改定(一会員あたり年間50円)によりまして一口3,800円が、1,000円アップして四月から年間3,900円となります。

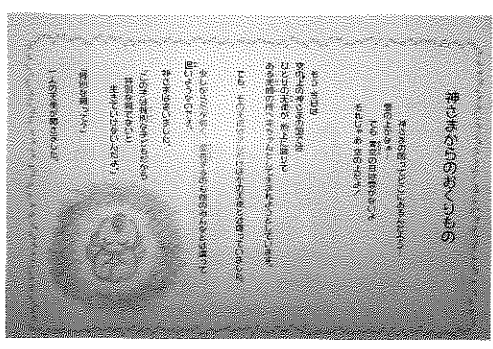
平成二十九年度の事業について

平成二十九年三月八日に行われた理事会で平成二十九年度事業計画や予算について承認されました。事業については例年どおり行うこととなります。また、現時点で決まっている主な事業は以下のとおりです。

- 一、第五十九回手をつなぐ育成会秋田県大会（大仙・仙北・美郷大会）
 - 日時 平成二十九年九月十七日 十時～十五時三十分
 - 場所 仙北ふれあい文化センター
- 二、第五十七回手をつなぐ育成会東北ブロック大会
 - 日時 平成二十九年十月二十一日～二十二日
 - 場所 福島県郡山市 磐梯熱海温泉ホテル華の湯
- 三、第四回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会北海道札幌大会
 - 日時 平成二十九年九月二十三日～二十四日
 - 場所 北海道札幌市 ロイトン札幌

絵本
「神さまからのおくりもの」が完成

当会のホームページでも紹介しましたが、三種町手をつなぐ育成会会員の加藤倫子さんのお子さんがダウン症児として生まれ、今まで育ててきた母としての熱い思いがこもった作品です。やわらかなタッチの絵（かがやまさこさん）と一緒にやさしい気持ちになります。一部 1,000円（送料込み）一部三種町育成会に寄附）で販売しますが、数に限りがありますのでご了解願います。興味のある方は、県育成会事務局までご連絡下さい。



☆—賛助会員—☆

平成二十八年度は、次の方々に賛助会員等として会の活動に応援していただきました。会員一同ご協力に感謝申し上げます。

- | | |
|---------|----------|
| 小松拓治 様 | 柳原 清 様 |
| 高橋 博 様 | 高橋麻里 様 |
| 澤田修明 様 | 進藤香代子 様 |
| 佐藤要治 様 | 菅原ユウ子 様 |
| 山田 隆 様 | 中津川正次郎 様 |
| 小松 晋 様 | 佐藤雄孝 様 |
| 庄司和歌子 様 | 池田芳雄 様 |
| 齊藤好行 様 | 飯田忠夫 様 |
| 齊藤忠治 様 | 小野瑞枝 様 |
| 旭 茂喬 様 | 長崎和子 様 |
| 兎澤正文 様 | 中村鉄司 様 |
| 柳沢千賀子 様 | 大野広四郎 様 |
| 土田章悟 様 | 櫻田 清 様 |
| 須田 馨 様 | 高橋 博 様 |
| 谷内和夫 様 | 谷内陽子 様 |
| 谷内和俊 様 | 近藤昭三 様 |
| 最上久之助 様 | 山下克子 様 |
| 柴田貞二 様 | 片野正巳 様 |
| 猪股 洋 様 | 鈴木聖市 様 |
| 小山真紀子 様 | 斉藤若子 様 |
| 金 慶一 様 | 金谷信栄 様 |
| 谷口洋子 様 | 伊勢富雄 様 |
| 今井正巳 様 | 草薨利健 様 |
| 船木定宏 様 | |

大仙市角間川字町頭一八〇—一九 薬局 すばる 様

秋田市中通二一五—二〇 (株) 山二秋田駅前SS3階 スペシャルオリンピックス日本・秋田 様

美郷町野中字下村五五—二 サンワーク六郷 様

仙北市田沢湖町卒田字柴倉 一三五 (株) 門脇木材 様

障がいのあるご本人と、そのご家族のための総合保険です。

ぜんちのあんしん保険

- 病気・ケガの入院
- 個人賠償補償
- 被害事故の解決

特別支援教育を必要とされている方のために生まれました。

ぜんちの子ども傷害保険

- 個人賠償責任補償
- 権利擁護費用補償 (弁護士費用)
- ケガでの入院保障

ぜひ、あなたご自身で詳しい保障内容をお確かめください。

保障内容に関するご質問、お問い合わせ

ぜんち共済株式会社

フリーコール **0120-322-150**

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号 岩本町シティプラザビル5階
http://www.z-kyosai.com/